

平成29年度 小諸野岸幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる 子ども
- (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども
- (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども
- (4) 自分からあいさつし、人とかわれる子ども

2. 本年度の重点目標

- 「あそび」… いろいろな遊びを知り、人とかわりながら夢中になって遊ぶ。
 「しぜん」… 自然に対する感性を高める。ふしぎ・発見・調べ活動、話し合い活動。
 「おはなしの日」… 聞く姿勢、集中して聞く。本に対する興味関心。感じたことを発表・表現する。
 「あいさつ」… あいさつ集会で場に合ったあいさつを知る。大きな声で元気にあいさつし合う。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) 先生方は、たいへん頑張っている。自己評価も良く、保護者として感謝している。
- (2) 年長のホームルームでは、子どもたちが点呼をとっている。すごい。小学校1年でもなかなかできない。先生方がホームルームの研究や研修を積み重ねながら高めていることを聞いた。先生方が勉強しながら子どもたちを高め、小学校へ繋げてくれていることに感謝したい。
- (3) 園児募集について、「信学会グループは勉強熱心で厳しい」という話を今も聞く。日常の子どもたちの姿や活動は素晴らしいし、のびのびしている。野岸の普段の姿や特色をさらに広げていく必要がある。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) モニターから園運営についてご理解いただき、高い評価をいただく。今後も子どもたちが主体的にかかわり、主体的に活動できる工夫を積み重ねていきたい。
- (2) 評価内容の「公開を通じた情報発信」「保護者の実情、子育て支援ニーズの把握」については、保護者や地域とのコミュニケーションを大事にして、可能な限りの意識・要望を探っていききたい。
- (3) 今年新たに加えた「園庭開放」、「ipad」や「おはなしの日」等野岸の特色ある教育を伝える自由参観は、野岸の良さを伝えるために効果的である。来年度も取り組んでいきたい。
- (4) 重点目標については、今年新たに加えた「あそび」も含め、4つの重点を来年度も実施していきたい。